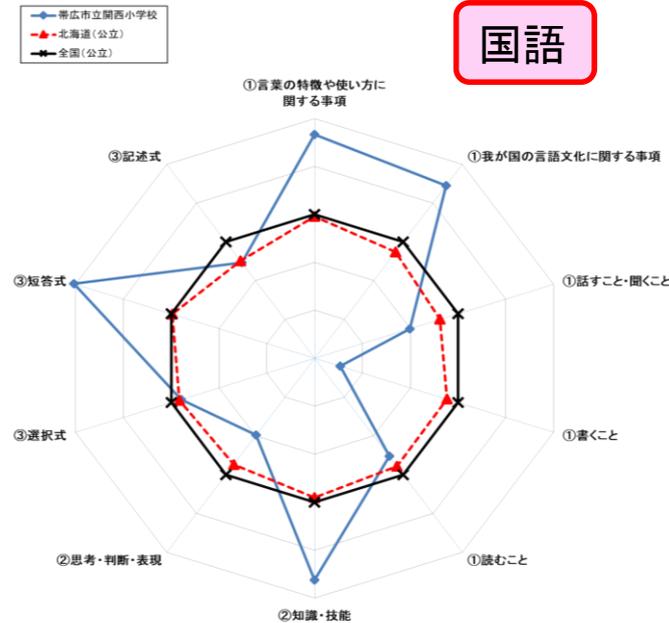


令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について（4月19日実施）

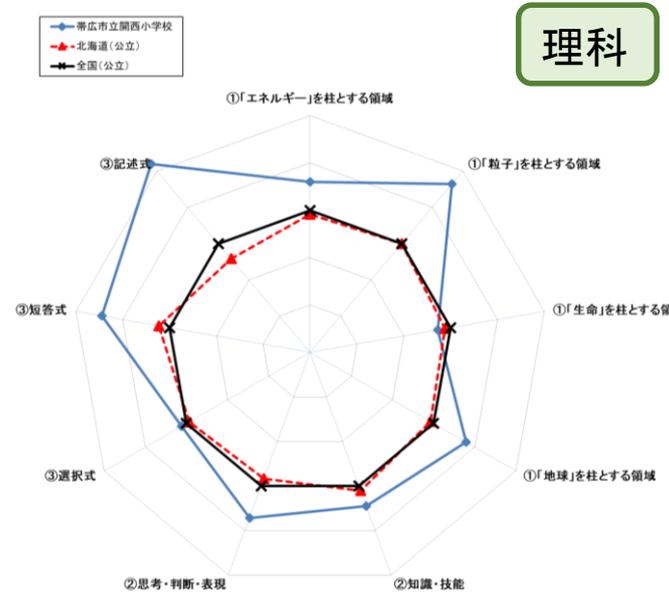
令和4年度の全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。なお、本調査により測定できるのは子どもたちが身に付けるべき学力の一部であり、教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえながらも、これまでの指導との関連を巡りつつ今後の指導に生かしていきたいと考えています。

※全国学力・学習状況調査は、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。」「そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」「学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。」ことを目的とし、平成19年度より行われています。



国語の平均正答率を領域別にみると、「言葉の特徴や使い方」「言語文化」「知識・技能」の領域に比べ、「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域の課題が大きくなりました。また、短答式の問題の平均正答率が高かったのに比べ、決められた字数や条件にそって要約するなど「記述式」の問題が課題となりました。

算数の平均正答率は、ほぼ全ての領域において全国平均正答率を上回りました。特に「変化と関係」の領域の平均正答率が全国、全道の平均正答率を大きく上回りました。反面、「図形」の領域においては、やや苦手意識があり、課題となっております。



理科の平均正答率は、ほぼ全ての領域において全国平均正答率を上回りました。特に「『粒子』を柱にする領域」において全国、全道の平均正答率を大きく上回りました。反面、「『生命』を柱とする」の領域においては全国、全道平均を若干下回り、課題となりました。

児童質問紙より

- 基本的な生活習慣が概ね身についています。
- 将来の夢や希望をもち、挑戦心や物事について粘り強く取り組む姿勢が身についています。
- 意欲的に授業に臨み、自分の考えを深めたり、広めたりすることができます。
- 学校生活を明るく前向きに過ごし、友達に対しても思いやりをもち、優しく接しています。
- 普段の家庭学習、読書に取り組む時間がやや少ない傾向にあります。
- 一日のゲームの時間、SNS・動画視聴の時間がやや長い傾向にあります。

○～良い結果です ●～課題が見られます

これまでと今後のとりくみ

- ・正答率の低かった問題については、解き直しや関連した問題への取組を進め、確実な定着につなげていきます。
- ・全学年を通じて校内研究との関連を図るなど組織的な授業改善につながるような取組を進めています。
- ・決められた字数や条件を満たして文章を要約したり、計算式の意味を筋道たてて説明したりするなどの問題に課題が見られます。考えたことを順序立てて記録したり、自分の意見をまとめたり、お互いの考えを共有しながら課題解決を図ることを大切に、学習内容がしっかりと定着できるよう授業改善に努めていきます。
- ・家庭学習の習慣化や充実など、家庭と連携した取組を図っていますが、更に充実させていきます。
- ・読書活動への啓発や日々のニュースへの関心を高めるなど、社会性を育む基礎となる指導や活動を日常的に取り入れています。